

帝王切開術を受けられる患者さんへ ~母児同室の場合~

患者氏名：

主治医：

受け持ち看護師：

月日	手術前日	手術当日	手術後 1日目	2日目	3日目	4日目	5日目	6日目	退院日
項目	手術前日	手術当日	手術後 1日目	2日目	3日目	4日目	5日目	6日目	退院日
達成目標	分からないことや不安なことを表出し、精神面、身体面を整えて出産に臨むことができる	術後の合併症がなく、子宮の戻りや身体の状態が良好に経過できる							発熱(38℃以上)がない 退院後の生活の留意点と言える
治療・薬剤(点滴・内服) 処置 リハビリ	<ul style="list-style-type: none"> お腹の張りや赤ちゃんの状態をみるためモニター(胎児心拍モニター)をつけます 除毛をします 手術に必要なものを準備します バスタオル1枚、お産セット、腹帯 深部静脈血栓症を予防するための弾性ストッキングをお渡しします 手足の爪を切り、マニキュアを落とします 指輪、ネックレス、ピアスを外します 氏名確認のためリストバンドと母児標識ネームバンドを右手に装着します 	<p><手術前></p> <ul style="list-style-type: none"> 胎児心拍モニターをつけます 手術衣を着用します(ショーツは着用できます) 弾性ストッキングを着用します 母児標識ネームバンドを右手に装着します 水分を補給するため、必要時、点滴を行います コンタクトレンズ、めがね、入れ歯を外してください 医師、看護師と一緒に手術室に行きます <p><手術後></p> <ul style="list-style-type: none"> 手術室からベッドで部屋に戻ります 看護師が定期的に全身状態の観察を行います 深部静脈血栓症予防のためにフットポンプを装着します 感染を予防するために抗生剤の点滴をします 痛みが強いつきには鎮痛剤の点滴をします 背中に痛み止めのチューブが入っています。引っ張らないように気を付けてください 	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き弾性ストッキングを着用します ベッド上ではフットポンプを装着します 歩行できるようになったら点滴を抜きます 	<ul style="list-style-type: none"> 背中に入っている痛み止めのチューブを医師が抜きます 痛みが強いつきには鎮痛剤の内服をします 			<ul style="list-style-type: none"> 5日目の検診を行います(尿検査、血圧測定、浮腫の確認など) 	<ul style="list-style-type: none"> 傷口を保護しているテープ類をはがして、傷を留めている器具を外します 退院診察を行います 	
検査	<ul style="list-style-type: none"> 心電図・胸部レントゲンを撮ります(外来で行なうこともあります) 採血をします 		<ul style="list-style-type: none"> 採血をします 毎朝、体重を測ります 				<ul style="list-style-type: none"> 採血をします 		
活動・安静度	制限はありません	ベッド上安静です。一人で起き上がらないで下さい	ベッドの頭の方を序々にあげていき、可能であれば歩きます	トイレまで歩行します	制限はありません				
食事	夕食を食べた後は麻酔科の指示に従います	<ul style="list-style-type: none"> 飲水、食事はできません うがいはできます 	<ul style="list-style-type: none"> 腸の動きを見て水分摂取を行います 昼食(7分粥食)から開始します 	粥食が始まります	粥食又は普通食を食べます	普通食です			
清潔	除毛した後に入浴しましょう	眠前に歯みがきをし顔を拭きます	<ul style="list-style-type: none"> 朝は体を起こして歯磨きをします 体拭きを一緒にいきます 		傷の状態が良ければシャワー浴ができます	シャワー浴をします			
排泄	制限はありません	手術中に尿を出すための管が入ります	<ul style="list-style-type: none"> 尿管が入った状態が管を抜いた場合はトイレまで歩行します 	尿管を抜いた後はトイレ歩行を行います	トイレに歩いて行きます				
患者様及びご家族への説明 栄養指導 服薬指導	<ul style="list-style-type: none"> 入院生活についてオリエンテーションを行います 手術の必要物品や術後の流れについての説明をします 麻酔科の医師が麻酔の説明をします 手術室看護師が訪問をします 主治医より本人・ご家族への手術の説明を行います。その後、手術同意書に署名、捺印していただきます 	<ul style="list-style-type: none"> 血栓を予防するために、膝が曲がるようになれば足首のそり返しや膝の曲げ伸ばしをしましょう 手術室からの連絡は全て病棟に入りますので、ご家族の方は4階エレベーター前のソファで待機してください 貴重品はご家族に預けるか金庫に入れて下さい(鍵はご家族に預けてください) 	<ul style="list-style-type: none"> 授乳指導があります 赤ちゃんを病室にお連れします 沐浴指導(見学)をします お母さんの状態によって、夜間は総合周産期母子医療センターに預けることもあります 赤ちゃんにビタミンK2のシロップを内服させます 	<ul style="list-style-type: none"> 乳房マッサージ、搾乳指導があります 沐浴指導(見学)をします 母児同室について説明します 希望がある場合は赤ちゃんの聴覚検査を行います 	<ul style="list-style-type: none"> 母児同室に関する指導を行います 沐浴指導(実施)をします 退院日までに退院後の生活や育児についてお話しします 希望される場合は調乳指導(ミルクの作り方、産後の栄養)についての話があります 	<ul style="list-style-type: none"> 赤ちゃんにビタミンK2のシロップを内服させます 退院後は14日目、21日目、1か月健診、以後1週間ごとに3か月まで内服します 赤ちゃんの先天代謝異常の検査を行います 	<ul style="list-style-type: none"> 10時退院予定です 1ヶ月検診の外来受診日を確認しましょう 手術の傷の治りが悪い、痛みが増してくる、38℃以上の発熱や乳房にトラブルができた場合は病棟に連絡してください 	<p>産婦人科外来 (平日8時30分~19時) 0985-85-9332 産婦人科病棟直通 0985-85-1746</p>	

この経過表は入院から退院までのおおよその経過をお知らせするものです
諸所の理由で経過通りにいかない場合もありますことをご了承ください。

宮崎大学医学部附属病院